

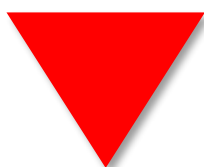
ORIONISHI 2022



折尾西校区 第一次

ふくしのまちづくり計画

みんなが安心して暮らせるまち
長く住みたいまち折尾西



2026

ごあいさつ

折尾西校区社会福祉協議会は「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を目指しています。当協議会の発足は、平成13年5月、校区内の3自治区会1自治町内会の民生委員・児童委員と主任児童委員12名、福祉協力員67名の他、小学校、中学校、消防署職員、介護施設経営者、長寿会代表等で構成し、役員会・ふれあいネットワーク部会、連絡調整会議、総会等の諸会議を定期的に行っています。

地域の現状は、人口約11,000人、約5,700世帯、高齢化率28.2%と近年、高齢化が加速しており、一人暮らしの高齢者も増加しています。

一方、北九州市で平成5年に開始された「ふれあいネットワーク活動」には平成13年度より取り組みを開始し、「自分たち地域の福祉課題は、自分たちが解決していく」という目的の下、見守り、話し合い、助け合いの活動を中心に進めてきました。

さらに、北九州市では、本格的な少子高齢化時代への転換期を迎え、行政と民間団体との役割分担と協働の指針である「北九州市の地域福祉2011～2020」が策定され、続いて、「住民ふくし2011～2015」（北九州市地域福祉活動第四次計画）が策定されました。

そうした状況下で、当校区は令和元年度に八幡西区社会福祉協議会の小地域福祉活動計画の策定校区の指定を受け、1年次は先進地区から講師を招いての学習会、令和2年度より、地域の諸団体への呼びかけのための諸準備、趣意書・アンケート案文の検討、令和3年度に全体会開催などの計画を進めてきました。

しかし、令和2年4月に新型コロナウイルス感染症のため、緊急事態宣言が発令された以降、大幅な策定計画の変更を余儀なくされました。

そのような経緯の中で、小委員会（会長・副会長・事務局長・次長・ふれあいネット委員・市民センター館長）を立ち上げ、区社協の助言をいただきながらまとめたものが本計画です。

この計画の推進に当たり、地域住民の皆さま、関係機関・団体の皆さまと共に、意見交換をしつつ、当校区の実情と展望にふさわしいものになるよう活動してまいります。

2022年3月



折尾西校区社会福祉協議会
会長 中西 照夫



もくじ

第1章	計画策定にあたって	2
1	計画の性格	
2	計画の期間	
3	計画の策定経過	
第2章	折尾西校区の現状と課題	3
1	地域の特性	
2	地域の福祉課題	
第3章	計画体系	4
1	基本理念	
2	基本目標	
3	実施項目（体系図）	
4	重点実施項目	
第4章	計画の推進	9
1	地域への計画の承認と周知	
2	計画を推進するための体制	
3	第二次計画の策定	
参考資料		10
1	策定委員会委員名簿	
2	策定委員会での協議事項	



第1章 計画策定にあたって

1 計画の性格

(1) 住民発信の行動計画

この計画は、折尾西校区の様々な福祉課題を解決するために、住民や民間団体が将来の見通しを持って計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、折尾西校区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

(3) 北九州市及び市・区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市の「地域福祉計画」及び北九州市・区社会福祉協議会が中心となって策定した「地域福祉活動計画」と整合性を図りながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 折尾西校区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有した計画です。

2 計画の期間

2022（令和4）年度～2026（令和8）年度までの5カ年とします。ただし、計画期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

3 計画の策定経過

折尾西校区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえ、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、折尾西校区小地域福祉活動計画策定委員会を設置し、折尾西校区小地域福祉活動計画を策定しました。



第2章 折尾西校区の現状と課題

1 地域の特性

人口	約 11,000 人	小学校	折尾西小学校
世帯数	約 5,700 世帯	中学校	則松中学校
高齢化率	28.2%	公民館・市民センター	折尾西市民センター
一人暮らし高齢者数	792 人	地域包括支援センター	八幡西 2

令和 3 年 9 月 30 日現在

折尾西校区は、折尾駅の西に位置し、水巻町に隣接しています。駅を中心にすり鉢状になっており、坂が多く中央に鹿児島本線、東側に福北ゆたか線が走っています。

駅周辺は学園都市と言われ、大学が 4 校あり外国からの留学生も多く、比較的若い世代が住んでいます。しかし、日吉台や大膳などの団地では高齢者世帯が増加しています。

2 地域の福祉課題（及び小地域福祉活動の課題）

●福祉に関心をもってもらいたい

- ・ 少子高齢化や住民同士のつながりが希薄な中、さまざまな福祉の困りごとを抱えた人が増えています。折尾西で起こっている福祉の課題にもっと関心をもってもらい、自分の地域の問題は自分たちで解決する風土づくりを広げていきたいと思っています。

●社会福祉協議会(社協)のことを知ってもらいたい

- ・ 社会福祉協議会は高齢者や子ども、障がいのある方や経済的困窮の方、さまざまな福祉の困りごとを抱えている人を地域住民で支え合う活動を行っています。社協の活動や想いを知っていただく事で、若い活動者や応援者を増やしたいと思っています。

●いろんな人が集える交流の場を増やしたい

- ・ 折尾西校区では集会所や市民センターなどを活用してサロン活動を行ったり、子育て支援や世代間交流を行ったりしています。誰もが気軽に集える場を身近な場所に増やすことで住民同士のつながりを強化したいと思っています。



第3章 計画体系

1 基本理念「みんなが安心して暮らせるまち長く住みたいまち折尾西」

折尾西校区では、子どもから高齢者まで、障がいのあるなしに関わらず、誰もが住み慣れたところで安心して生活できるまちにしたいと願っています。その実現に向けて、基本理念と3つの基本目標、そして32の取組みを定めました。

2 基本目標

(1) 地域の目で地域を守ろう！

まちづくり協議会や自治区会と連携し、地域住民が安全・安心に生活できる見守り体制の強化、防犯、防災の体制づくりを推進します。

(2) 健康寿命をのばそう！

地域住民が健康寿命をのばすための前向きな健康対策事業を推進します。

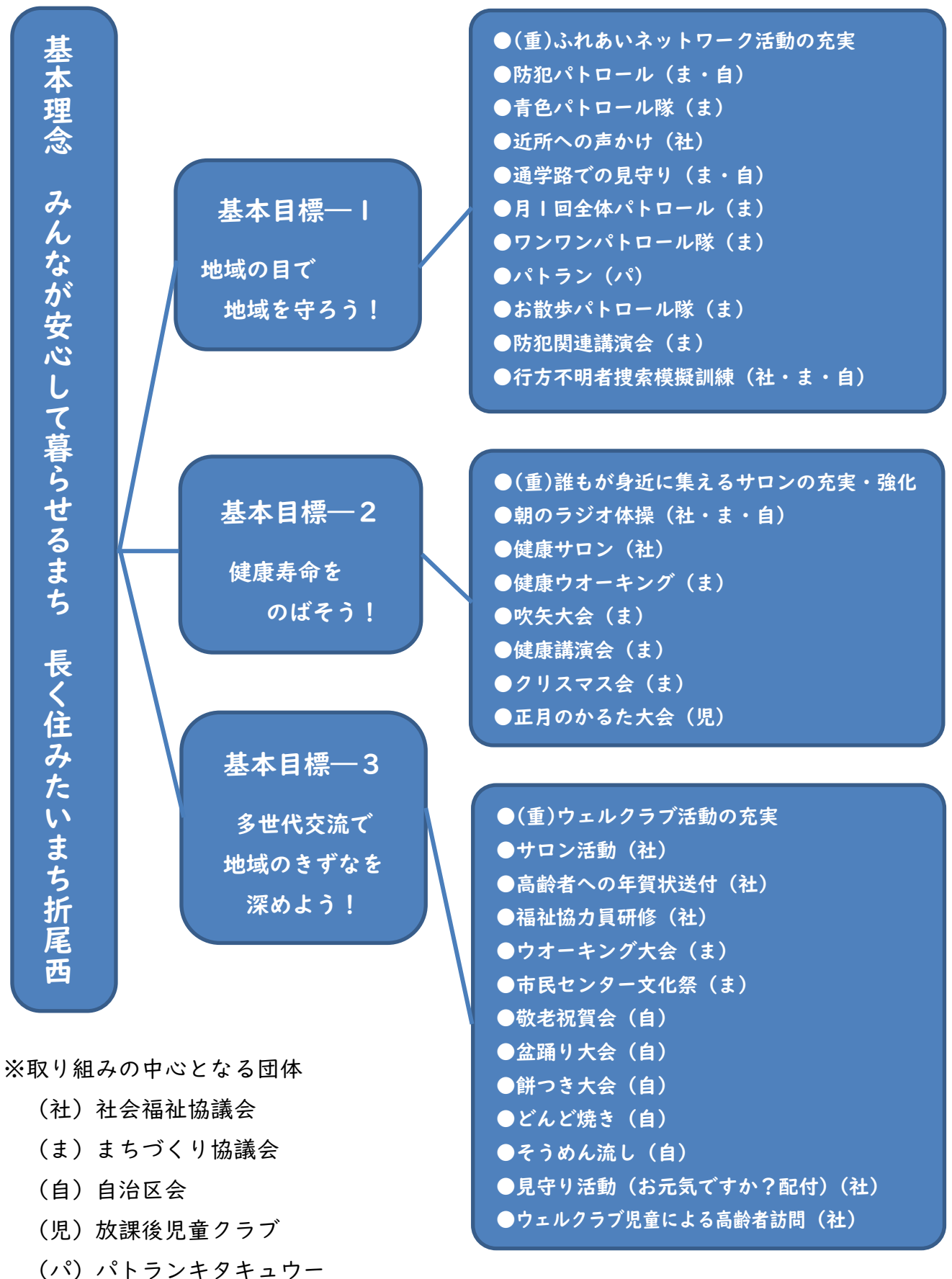
より多くの方が健康で明るく楽しい生活を送られるよう、介護予防、健康づくりを重点にした事業に取り組みます。

(3) 多世代交流で地域のきずなを深めよう！

子どもから高齢者、子育て世代、障がいのある方など誰もが気軽に集まり話せる場としてのサロンや行事を開催します。また、困りごとを受け止める場としての体制づくりを行います。



3 実施項目（体系図）



4 重点実施項目

今回定めた基本目標を達成するために、特に関係団体・機関と連携して重点的に進めていく事業を「重点実施項目」と定め、次の3つのことを推進していくことにしました。

重点実施項目		ふれあいネットワーク活動の充実						
1 課題背景及び現状								
地域の福祉活動を担う、福祉協力員の高齢化や人材不足も進んでいます。また、個人情報の取り扱いの観点から見守り対象者の情報不足や緊急時に連絡が取れず、災害時等の対応も困難な状況にあると懸念されます。								
2 活動の方針・目標								
地域の実態調査を行い、現状の把握に努めながら、校区社協活動に対する理解と協力を求め、福祉協力員などの人材確保に取り組みます。								
3 段階的な取り組みの年次計画								
取り組み内容		連携する機関	R4	R5	R6	R7	R8	備考
緊急時の連絡体制	民生委員、福祉協力員に対する研修	民児協	→					個人情報の取り扱いや基本台帳の整備についての研修
	基本台帳の整備	自治区会 民児協		→				
	基本台帳の更新	自治区会 民児協			→	→	→	
	福祉協力員活動に対する広報・啓発	自治区会		→				
福祉協力員の発掘・増員	各自治区会・班に対しての現状調査とまとめ	自治区会	→					配置状況・活動状況・活動費の支給等
	新たな基準に対する話し合い	自治区会 民児協			→			
	新たな基準の運用開始	自治区会 民児協					→	



重点実施項目	誰もが身近に集えるサロンの充実・強化						
1 課題背景及び現状							
<p>サロンを運営している活動者が高齢となり、固定化されがちな状況があります。サロンやいろいろな人が集える場所が少なくなり、住民同士のつながる機会が減ってきていることが懸念されます。</p>							
2 活動の方針・目標							
<p>子どもから高齢者、子育て世代、障がいのある方など、誰もが気軽に集まれる居場所づくりに取り組みます。</p>							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する 機関	R4	R5	R6	R7	R8	備考
社協サロンの活動場所の確保	企業 社会福祉施設 個人	→					
予算確保のため、サロン有料化やバザーの検討	サロン参加者 各町内会	→					
活動内容についてのアンケート、広報・啓発	自治区会	→					
他校区サロンなど視察し実施内容を検討する	他校区社協 町内会 社会福祉施設 企業	→					



重点実施項目	ウェルクラブ活動の充実						
1 課題背景及び現状							
<p>コロナの影響もあり、保護者へ取り組み内容が伝わりづらいことによる参加者の減少が目立つようになりました。また折尾西校区社協の活動範囲も問題となっています。</p>							
2 活動の方針・目標							
<p>募集対象を、小学校の全児童、中学校にも参加を促す声かけをしていきます。児童生徒が楽しめる行事を実施し、校区社協のホームページに掲載、PRを行います。</p>							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R4	R5	R6	R7	R8	備考
保護者に対する意識調査	小学校 中学校 保護者	→					
申込書の簡素化、ホームページの充実、館報でのPR	小学校保護者 市民センター		→				
グループ分けの見直し	自治区会			→			
1年を通しての活動にし、校区社協以外への行事の参加、他校区との交流	サングリーン アネモス 市民センター サンレー ボランティア 団体			→			
活動実施に際しての連絡体制の見直し	小学校 サングリーン アネモス	→					
活動内容の見直し	自治区会 まち協			→			



第4章 計画の推進

1 地域への計画の承認と周知

計画を推進していくために、以下の計画の広報活動を行います。

- ① 校区社会福祉協議会総会等を通じた社会福祉協議会活動者への計画の承認と周知
- ② 計画の実施項目を進めていく上での関係機関・団体への周知・協力依頼
- ③ 計画書概要版の配布等を通じた校区住民への周知 等

2 計画を推進するための体制

(1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、折尾西校区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、計画の進行管理等について、委員会で協議を進めていきます。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な実施方法
- ③ 進行管理の実施

(2) 計画の進行管理

折尾西校区小地域福祉活動計画推進委員会を年度に数回程度開催します。(当年度の事業推進の確認、年度内における中間確認、次年度の事業確認、また必要に応じて開催)

委員会では、PLAN(計画立案) DO(実行) CHECK(点検・評価) ACT(改善)というPDCAのサイクルを回しながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、うまく進行していない場合にはその原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。

(3) 計画の評価

計画期間の中間時点では計画全体の間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

3 第二次計画の策定

第一次計画の推進状況を踏まえて、第二次計画の策定期間には新しく計画策定委員会を設置し、計画策定に向けて協議を進めていきます。



参考資料 【折尾西校区小地域福祉活動計画の策定経過】

1 折尾西校区小地域福祉活動計画策定委員会委員名簿

	氏名	所属団体	役職	備考
1	中西 照夫	折尾西校区社会福祉協議会	会長	策定委員長
2	高崎 正博	折尾西校区社会福祉協議会	副会長	
3	木村 栄久	折尾西校区社会福祉協議会	副会長	
4	疋田 義和	折尾西校区社会福祉協議会	事務局長	
5	渡辺 保	折尾西校区社会福祉協議会	事務局次長	
6	佐藤 美恵	八幡西区民生委員児童委員協議会	委員	
7	永濱 智恵子	八幡西区民生委員児童委員協議会	委員	
8	柴引 香代子	折尾西市民センター	館長	

2 折尾西校区小地域福祉活動計画策定委員会での協議事項

回	開催日	主な協議事項
1	R3年11月1日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・小地域福祉活動計画とは ・計画策定について意見交換 ・策定委員会構成メンバー検討
2	R3年11月15日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画策定について意見交換 ・策定委員会開催スケジュールについて
3	R3年11月30日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の現状把握や課題の抽出について
4	R3年12月17日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・重点実施項目の実施計画づくり
5	R4年1月17日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・重点実施項目の実施計画づくり
6	R4年2月14日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・重点実施項目の実施計画づくり ・体系図(案)作成
7	R4年2月28日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・体系図(前回)確認 ・計画書及び概要版の構成・編集
8	R4年3月14日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書及び概要版の最終確認





.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....





.....



.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



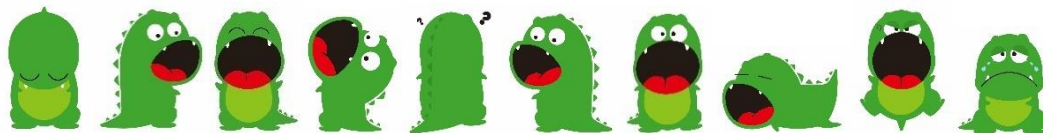
.....

.....



社会福祉協議会のイメージキャラクター

プチボザウルス Petit vo saurus



Petit (プチ：ちっちゃな)

Volunteer (ボランティア)

Saurus (サウルス≡恐竜)



折尾西校区社会福祉協議会

〒807-0866 北九州市八幡西区日吉台 1-22-20 折尾西市民センター内
TEL 093-601-8231 FAX 093-601-8232

八幡西区社会福祉協議会

〒806-8510 北九州市八幡西区黒崎 3-15-3 コムシティ 6階
TEL 093-642-5035 FAX 093-642-5077

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1番 6号 ウェルとばた 8階
(代表) TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579
(地域福祉部) TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351

